

2024年3月14日

報道関係各位

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社

## GMOグローバルサイン・HD、ロボット・ドローン導入に伴う事業リスクを AIによって低減させる実証実験を開始 ～ロボット・ドローンを安心して利用できる社会を目指す～

GMOグローバルサイン・ホールディングス株式会社（代表取締役社長：青山 満 以下、GMOグローバルサイン・HD）は、2024年4月より、ロボティクス・ドローン分野におけるAIを活用した動作ログ解析の実証実験を開始いたします。

この実験は、ロボット・ドローンの動作ログに機械学習とディープラーニング技術を活用した高度なAI解析を行うことで、故障リスクやセキュリティリスクをマネジメントし、運用効率を向上させ、事業リスクを低減することを目指します。



### 【実証実験の概要】

#### ■実施背景

ロボティクス技術の進歩により、ドローンや建設機械、危険地域での作業ロボット、配膳ロボットなど、遠隔操縦や自律稼働するロボットの活用範囲が拡大しています。2022年12月に施行された改正航空法により、ドローンの「レベル4」飛行<sup>(※1)</sup>が可能となりました。さらに2023年4月に改正道路交通法が施行され、自動走行ロボットの公道での運行が可能になるなど、法整備もロボット・ドローンの普及を後押ししています。

一方で、これらのロボット・ドローンへの依存度が高まるにつれて、故障やセキュリティインシデントなどにより稼働不能になった場合の事業への影響も大きくなっています。しかしながら、ロボットの自律稼働のためのリアルタイムAI分析は研究が進む一方、事業リスクを予測するためのAIの活用はまだ十分ではありません。

そこで、GMOグローバルサイン・HDは、ロボット・ドローンの故障リスクやセキュリティリスクのマネジメントの最適化と運用効率の向上によって事業リスクを低減することを目指し実証実験を開始することにいたしました。

(※1) ドローンの「レベル4」飛行：有人地帯での目視外飛行

## ■実施内容

以下のプロセスで、クラウド上でのロボット・ドローンの包括的な動作ログ収集とAIによる解析を行います。

1. ドローン関連企業の技術連携を目指す「ドローンオープンプラットフォーム Project」<sup>(※2)</sup> に参画し、空中ドローンについて、飛行中にセンサー等から収集されたログデータを解析し、ドローンの故障リスクの予測などを行う予定です。
2. 対象を陸上ドローン（ローバー）や自動走行ロボット、水中/水上ドローンに広げていきます。
3. 最終的にはログの収集・解析の対象をドローン以外のロボットにも広げていく予定です。

(※2) ドローンオープンプラットフォーム Project : <https://www.drone-j.com/doplpl/>

将来的には分析結果を以下のような事業者に見込んでいます。

- ロボット・ドローンメーカー：顧客サポートおよび品質改良
- 物流・製造・設備点検およびサービス事業者：故障・動作不良予測やセキュリティリスクの発見
- 損害保険会社：故障に伴う直接的な物理的損害に対する保険料率算定の精度向上および企業の事業リスクをカバーする保険商品の企画等

当社がこれまで取り組んできたドローンやIoTに関するセキュリティの知見を活かし、収集するデータのセキュリティについても細心の注意を払っていく予定です。

GMO グローバルサイン・HD は、この実証実験を通じて、ロボット・ドローンを安心して利用できる社会を実現し、この分野のビジネスのさらなる発展に貢献してまいります。

## 【「GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社」について】

GMO グローバルサイン・HD は、電子認証事業および創業以来提供しているホスティング事業から、AI・IoTのテクノロジーを活用したサービスの提供まで行っている IT 企業です。

グローバルでシェアを持つ世界トップ5社<sup>(※3)</sup>の中で唯一の国産電子認証局「GlobalSign」を保有しており、国内外の主要な電子契約・署名ベンダーへ認証技術を提供。ドローンや空飛ぶクルマを対象とした「空のセキュリティ」にも積極的に取り組んでいます。また自社開発で導入企業数300万社以上<sup>(※4)</sup>の「電子印鑑GMOサイン」との連携により、コストパフォーマンスの高いセキュアなサービスを多くの自治体・企業様等にご利用いただいております。

### あらゆるインターネットサービスへ電子証明書を提供



(※3) 有償 SSL 電子認証局。英 Netcraft 社「Netcraft SSL Survey」調べ

(※4) 2023年7月末時点。自社調べ

## 【報道関係お問い合わせ先】

## ●GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社

社長室 広報担当 大月・遠藤

TEL : 03-6415-6100 E-mail : [pr@gmogshd.com](mailto:pr@gmogshd.com)

## ●GMO インターネットグループ株式会社

グループコミュニケーション部 広報担当 青柳

TEL : 03-5456-2695 E-mail : [pr@gmo.jp](mailto:pr@gmo.jp)【GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社】(URL : <https://www.gmogshd.com/>)

会社名	GMO グローバルサイン・ホールディングス株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 3788)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役社長 青山 満
事業内容	■電子認証・印鑑事業 ■クラウドインフラ事業 ■DX 事業
資本金	9 億 1,690 万円

【GMO インターネットグループ株式会社】(URL : <https://www.gmo.jp/>)

会社名	GMO インターネットグループ株式会社 (東証プライム市場 証券コード : 9449)
所在地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代表者	代表取締役グループ代表 熊谷 正寿
事業内容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資本金	50 億円

※記載されている会社名、製品名は、各社の商標、もしくは登録商標です。

Copyright (C) 2024 GMO GlobalSign Holdings K.K. All Rights Reserved.